

令和6年度 白根小学校運営の基本方針

【居心地のよい学校づくり】

教育目標「ゆたかに かしこく たくましく」のもと、「自分も相手も大切にして、よりよくかわり合う子ども」を重点目標に設定し、目指す子どもの姿「白根に生きる子ども～白小を大好きな子 白根を愛する子 白根を考える子～」の実現に向け、いじめをしない、させない、見逃さない、居心地のよい学校づくりに取り組みます。

1 教育目標

ゆたかに かしこく たくましく



2 目指す子どもの姿

白根に生きる子ども

～ 白小を大好きな子 白根を愛する子 白根を考える子 ～

I like 白小

I love 白根

I think 白根

3 重点目標(目指す子どもの姿の実現のための方策)

自分も相手も大切にして、「よりよくかわり合う子ども」を育てる。

4 令和6年度の教育活動

【重点1】 一人一人の個性を尊重し、可能性を広げる教育活動

<具体的取組①>【新規】いじめをしない・させない・見逃さないための取組

～いじめに正面から向き合う!～

(1)【最重点】いじめの未然防止のための取組を行います。

- ◆法律等を基に、いじめについての知識を伝え、いじめについての理解を深めるため、新潟市「いじめ未然防止に向けた教育プログラム」を活用した学級活動を実施します。
- ◆「いじめはなぜいけないのか」等について、子どもたちが自分事として考えることができるように、いじめの未然防止を意図した「道徳科の授業」を行います。
- ◆外部講師等を活用した「情報モラル教育」や「人権教育プログラム」の活用により、「いじめの未然防止のための取組」を行います。

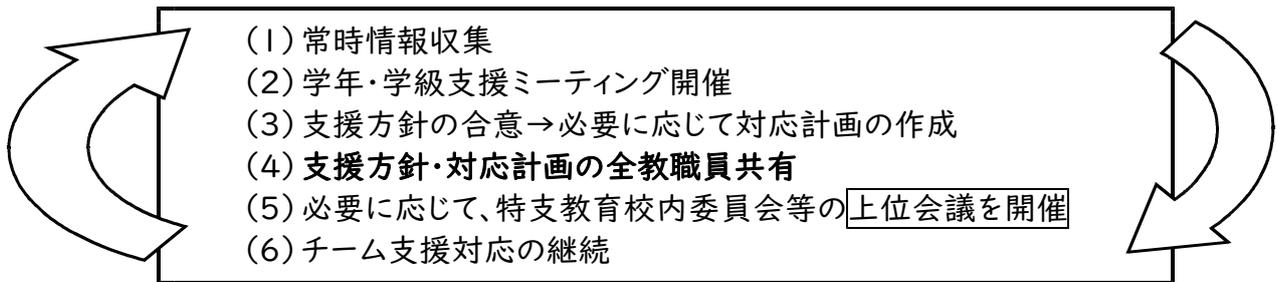
(2)いじめの早期発見・即時対応を行います。

- ◆チーム(組織)で対応します。
①実態把握・情報共有 → ②役割分担と即時対応 → ③経過観察 → ④検証
- ◆関係する児童及び保護者の心情に寄り添い、納得と理解、協力を得ながら対応します。
⇒即時対応! ※気になったら、躊躇せず保護者に連絡・相談

(3) 【学年・学級支援ミーティング】の実施による「チーム支援」を行います。

- ◆ 学年・学級支援ミーティングの開催により、学年・学級の課題とその解決方法を検討し、対応内容及び支援方針を共有したチーム支援を行います。⇒先手対応！
→不登校初期対応・別室（SSR）対応・特別支援対応・学級状況対応・保護者対応 etc.
- ◆ 学年・学級支援ミーティングでの取組を受けて、必要に応じて、いじめ・不登校対策委員会・特別支援教育校内委員会等の上位会議につなげ、一層の共有を図ります。

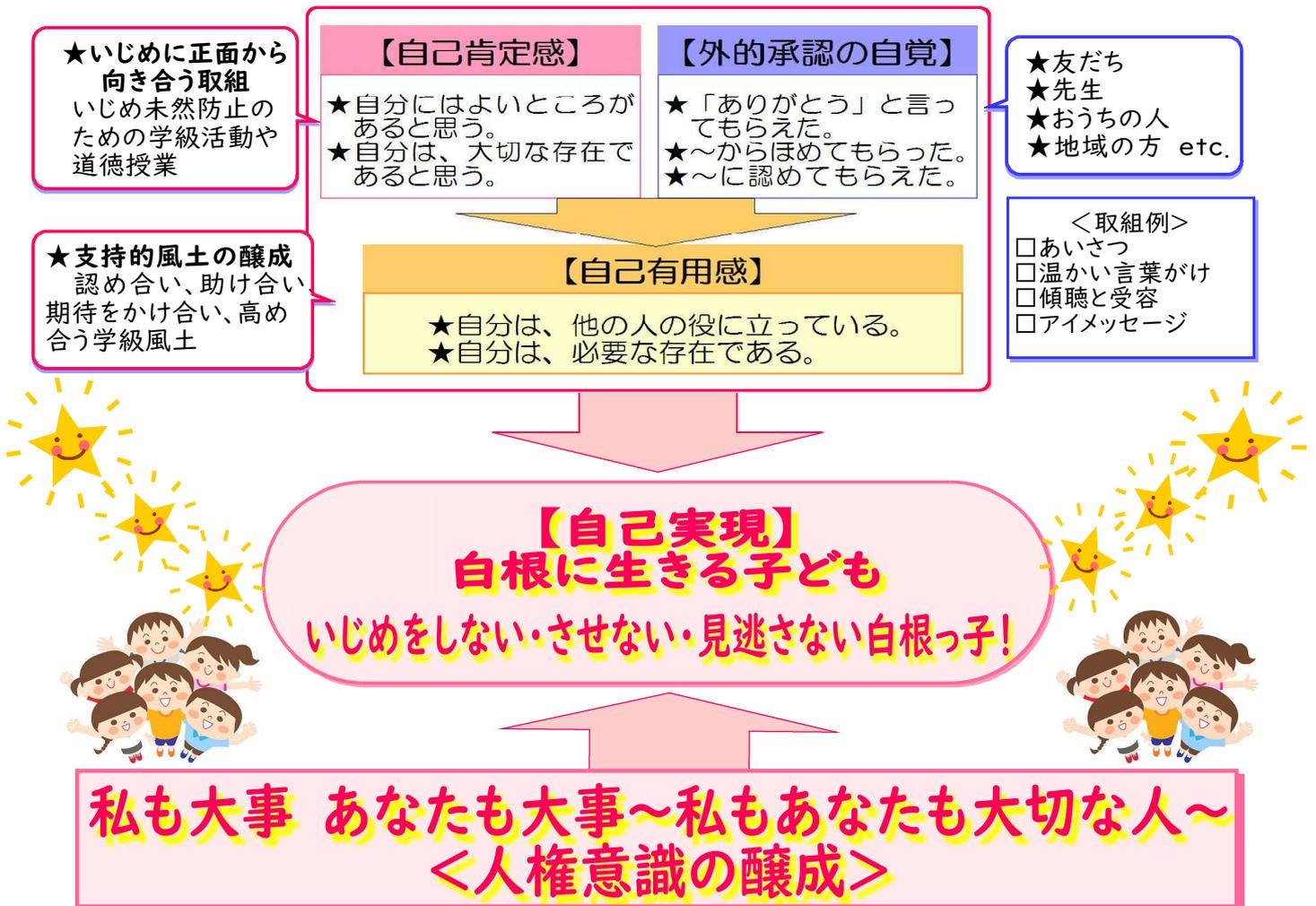
【学年・学級チームによる支援サイクル】



<具体的取組②>よりよくかわり合うための取組【人権意識の醸成】

「私も大事 あなたも大事」～私もあなたも大切な人～

(4) 自己肯定感を高め、自己有用感を育むための意図的な働きかけや場を設定します。



<具体的取組③>一人一人を大切にした学習指導・支援

「授業で子どもを育てる」～子どもの心に火を付ける～

(5) 子どもが「安心して参加できる授業」を行います。⇒ 支持的風土のある学習集団づくり

- ◆「傾聴・受容」により互いに認め合い、助け合い、期待をかけ合い、高め合う温かい人間関係を大切にします。=学級の「支持的風土の醸成」
- ◆自分の考えを伝え合ったり、相手の考えを聴き合ったりする「子ども同士のかかわり合い」を大切にします。=「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改革

(6) 子どもの困り感に寄り添った学習指導を工夫します。⇒ 合理的配慮&居場所の提供

- ◆学習時間や学習量の制限、学習内容や教育環境等の工夫により、子どもの自己選択・自己決定を尊重し、一人一人の子どもが「できること」に取り組めるよう支援します。
⇒「自分にできることを選択する」=ゼロにしない!
「安心して居場所を選択する」=教室以外の居場所づくり(白根っ子ルーム)

【重点2】 白根小だからこそできる特色ある教育活動の推進

<具体的取組①>「白小CS会議」による地域とともにある学校づくり

⇒「いじめをしない・させない・見逃さない学校づくり」の共有

- ◆「白小CS会議(白根小学校運営協議会)」によるコミュニティ・スクールの運用により、保護者や地域の方々・学校が協働する地域とともにある学校づくりを推進します。
- ◆【新規】「白小CS会議」を中核に地域・家庭・学校が一体となって、**人権意識の醸成を図り、いじめをしない・させない・見逃さない学校づくりに取り組みます。**

<具体的取組②>「白根小学校 年間カリキュラム」による教育活動

⇒地域と学校パートナーシップ事業の充実

- ◆白根小学校で育てたい資質・能力を明確にし、各教科等や地域とのつながりを明確にした「白根小年間カリキュラム」を運用し、計画的に運用します。
- ◆地域と学校パートナーシップ事業やNIEやSDGsの取組を、「白根小年間カリキュラム」に位置付け、特色ある教育活動の充実を図ります。